

善意銀行より (平成21年9月1日～12月31日)
 次の皆様からのご寄付をいただきました。ありがとうございました。

○社会福祉のために

高崎緑、横浜市資源循環局旭工場・旭事務所、荻窪邦昭、長山眞佐美、横浜信用金庫鶴ヶ峰支店、(社)神奈川県エルピーガス協会横浜旭・保土ヶ谷支部、社団法人保土ヶ谷青色申告会旭事務所、旭区ボランティア連絡会、内田忠夫、都岡町内会チャリティーもちつき大会、鶴ヶ峰本町町内会婦人部、株式会社横浜総合プラン、旭地区労働組合協議会、仕事納め会実行委員会、匿名2件

○交通遺児のために 武田光子

○障害福祉のために ヘアーメイク ファンジョン

〈物品寄付〉

大越由美子、みどり友の会、山名勇、特別養護老人ホーム旭ホーム、櫻井美代子、横浜市今宿地域ケアプラザ、YKT株式会社、野副良子、あさひ茶花道協会、横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ、井上敏明、居波隆、笹野台小学校、林正男、鶴ヶ峰本町町内会婦人部、匿名1件 (敬称略)

ご存じですか?



横浜子育てサポートシステム

「子どもを預かってほしい人」「子どもを預かれる人」が会員として登録し、会員相互の信頼関係のもとにお子さんの預かりを実施することで、住民同士・地域ぐるみでの子育て支援を目指しています。

提供会員・両方会員さん大募集中!

空いた時間を活用して、ご近所のお子さんを預かっていただけませんか?本システムではお子さんを預かってくださる「提供会員」「両方会員」を大募集しています。

まずは「入会説明会」へお越し下さい!!

※会員登録のためには入会説明会への参加が必要です。

日時: 3月10日(水)
 4月13日(火) いずれも10:30～11:30
 5月18日(火)

場所:旭区福祉保健活動拠点「ばれっと旭」
 お問い合わせ:旭区社会福祉協議会(☎392-1123)

広報委員

広報委員長: 増田 貞夫 (市沢) 広報副委員長: 渡辺 勝 (希望が丘東)
 渡邊 敦子 (白根) 勝本 妙子 (上白根) 粉山 美佐子 (川井) 佐川 三男 (万騎が原)
 山田 勝 (二俣川ニュータウン) 池田 宏史 (旭南部) <敬称略>

「地域でなにか活動してみたい。でもなにができるかわからない。」
とされているあなたに…

旭区社協ではボランティアの協力を得て、外出困難な方に対して福祉有償移動サービスを行っています。



車いす搭乗の車を運転する「運転ボランティア」と利用者の簡単なお手伝いをする「つきそいボランティア」を募集しています!!

活動日については個々の事情にあわせられます。男性のボランティアも活躍されています。少しでも興味を持っていただけた方は担当までご連絡下さい(392-1123)

旭区社協からのお知らせ

あさひふれあい助成金説明会

区内で地域福祉活動に関する事業を実施するボランティアグループ・市民活動団体、障害者等当事者団体などに助成を行います。

- 1) 日時: 3月29日(月) 午後6時～7時
 4月3日(土) 午前10時～11時 (説明内容はどちらも同じです。)
- 2) 場所: 旭区福祉保健活動拠点「ばれっと旭」2階多目的研修室

赤い羽根共同募金ありがとうございました

本年度は地域の皆様から24,862,548円のご協力をいただきました。(平成22年1月31日現在)主に民間の社会福祉施設や社会福祉協議会やさまざまな福祉活動団体の資金として活用させていただきます。

賛助会費へのご協力ありがとうございました

本年度は地域の皆様から5,552,572円のご協力をいただきました。旭区社会福祉協議会が行う各種事業費として大切に活用させていただきます。

◆広報紙の特集を区民の皆様からも募集いたしますので、電話・FAX・e-mail等でご連絡ください。

No. 74
 平成22年3月1日発行

旭区社協だより

あさひ いきいき宣言

発行・社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会
 〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35 ばれっと旭内

旭区社協だより No. 74

あさひ 「この町が好き」と言えるまちづくり

いきいき宣言



平成22年3月1日発行



発行: 社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会
 〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35 ばれっと旭内
 TEL045(392)1123 FAX045(392)0222
 E-mail asahi-ks@ceres.ocn.ne.jp URL http://www.palletasahi.jp

わたしたちは通称:「旭区社協」といいます!
 「旭区社協」は、社会福祉法第109条に規定されている民間団体で、横浜市や旭区役所などと連携して社会福祉を目的とする事業を展開し、また、みなさまの福祉活動の応援・援助を行い、計画的に地域福祉活動を進めています。

この広報紙は「赤い羽根」の共同募金の配分金で発行しています。

地域の中でいきいきと若手ボランティアの活躍



若い世代も地域の中で活躍しています。お休みの日や放課後を利用して、障害者施設や高齢者施設、地域の行事の中で、いろいろな活動に参加しています。街頭に立って募金に協力する小学生や地域のフェスティバルで着ぐるみを着て手伝う高校生、高齢者を祝う集いで参加者を楽しませる高校生など、学校や塾とは違うかわりの中でいろいろな世代の人たちと知り合ったり、さまざまな経験をして、新たな仲間とともにいきいきとボランティア活動をしています。